

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	職員健康管理事業	所管	総合政策部 職員課
			TEL 2998-9048

事業の目的 (何の為に 行うか)	職員の健康の保持増進を図るため。
------------------------	------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	全職員(常勤の特別職を含む) ※定期健康診断及び職員健康相談は、臨時職員・非常勤職員を含む	対象とした数	2,672	人
		実際に 利用した数	2,594	人

活動の内容	(何を したか)	①健康診断の実施(市民医療センターに委託) ②特殊健康診断の実施(深夜業務従事者、有機溶剤取扱者、重量物取扱者等の健診を外部委託) ③胃がん・大腸がん健診の実施(正規職員で希望者に対し実施) ④職員健康相談及び保健指導実施(保健師により週1回。産業医により月1回) ⑤こころの健康相談実施(精神科医及び精神保健福祉士に委嘱し月2回実施) ⑥健康教育の実施(各安全衛生委員会の依頼及び新規採用職員・退職予定者に対して実施)								
		活動実績	項目名	定期健康診断	2594	項目名	職員健康相談	626	項目名	こころの健康相談
				----- 単位 人			----- 単位 人			----- 単位 人

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	21,879	20,889	28,310	83.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	定期健康診断、人間ドック 受診率	受診者数÷対象者数(職員数から病休・ 育休等を除く数)	100	99.5	99.5
			----- 単位	----- 単位	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止
	予算	* 現状どおり		増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []	終了
	予算	現状どおり		増額	減額	終了		

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	010700	TEL	2998-9048
事業コード	職員健康管理事業	担当	総合政策部 職員課			
010711		グループ	厚生担当			
開始年度		平成 10 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令				
	分野別計画・指針								
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第8章 計画の推進に向け	施策	3節 行政運営	中柱	2 組織の活性化	小柱	(5)職員の安全衛生の充実
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 35 位		・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
事業開始の背景									
職場における労働者の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進することを目的として、昭和47年に労働安全衛生法が制定された。当市では、健康診断は以前から実施していたが、平成10年4月に所沢市職員安全衛生管理規程を定め、健康管理に関する体制を整えた。									

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)						
	職員の健康の保持増進を図るため。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	全職員(常勤の特別職を含む)			職員数			
	※定期健康診断及び職員健康相談は、臨時職員・非常勤職員を含む						
対象数	単位	平成 18 年度	2,698	人	平成 19 年度	2,672	人
対象数	単位	平成 18 年度	2,632	人	平成 19 年度	2,594	人
事業の具体的な内容及び実施方法							
①健康診断の実施(市民医療センターに委託)							
②特殊健康診断の実施(深夜業務従事者、有機溶剤取扱者、重量物取扱者等の健診を外部委託)							
③胃がん・大腸がん健診の実施(正規職員で希望者に対し実施)							
④職員健康相談及び保健指導実施(保健師により週1回、産業医により月1回)							
⑤こころの健康相談実施(精神科医及び精神保健福祉士に委嘱し月2回実施)							
⑥健康教育の実施(各安全衛生委員会の依頼及び新規採用職員・退職予定者に対して実施)							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	平成19年度中に改善した点					
事務作業の効率化～健康診断結果の入力作業の効率化を図るため、健診の委託先である市民医療センターとデータの入力受け渡しの方法を調整。フロッピーでの受け渡しが可能となったため、従来行ってきた手入力の作業が大幅に減り、作業時間の短縮につながった。						

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		21,695	21,879	20,809
	決算(見込み含む)		20,601	20,889	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	人	0	0.79 人	7,421
	公債費				
	事業費合計		20,601	28,310	
	財源内訳	一般財源	20,601	28,310	20,809
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			61.0	83.5	
利用数一単位あたり(単位:円)			7,827.1	10,913.7	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	定期健康診断	受診者数	人	2632	2594	
		職員健康相談	相談者数(延べ人数)	人	643	626	
		こころの健康相談	相談者数(延べ人数)	人	86	56	
	成果分析	定期健康診断、人間ドック受診率	受診者数÷対象者数(職員数から病休・育休等を除く数)	%	達成率	99.4	99.5

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体 見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無 見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	定期健康診断・人間ドックについて、数回の受診勧奨を実施しているが、わずかながら(0.5%。実数14人)未受診者がいる。			
今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
平成20年度における目標設定	定期健康診断・人間ドックの受診率	できる限り100%に近づける	年度内	
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	受診勧奨を行うことにより定期健康診断・人間ドックの受診率は病休・産休等で受診できない職員を除くと99.5%となるが、今後も受診勧奨を積極的に実施し、更なる受診率の向上に努める。また、特に男性職員における肥満・高血圧の割合の高いことが傾向として見られるため、職員の健康に対する意識向上と生活習慣改善に向け健康支援を実施していく。さらに、メンタルヘルス対策は必須であることから、引き続きこころの健康相談については、周知方法の検討を含め充実を図っていく。			
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	職員担当 平野 澄彦	

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価理由					
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
		見込まれる貢献度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	評価理由					
	評価日	評価日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
施策の方向				